北九州工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	英語ＢⅠ

科目基礎情報

科目番号	0024	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	生産デザイン工学科（機械創造システムコース）	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	NEW ONE WORLD Expressions Ⅰ （教育出版）		
担当教員	山本 一夫		

到達目標

1.単語と句と節の区別が付き、それぞれの意味単位に品詞を当てはめて理解する事が出来る。
2.自動詞と他動詞の区別ができ、日本語と英語の基本的な語順の違いを理解している。
3.中学レベルの英単語と英文法を使用でき、高1レベルの英単語と英文法を理解できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	単語と句と節の区別が付き、それぞれの意味単位に品詞を当てはめて理解する事が出来る。	単語と句と節の区別が付き、それぞれの意味単位に品詞を当てはめておおよそ理解する事が出来る。	単語と句と節の区別が付き、それぞれの意味単位に品詞を当てはめて理解する事が出来ない。
評価項目2	自動詞と他動詞の区別ができ、日本語と英語の基本的な語順の違いを十分理解している。	自動詞と他動詞の区別ができ、日本語と英語の基本的な語順の違いをおおよそ理解している。	自動詞と他動詞の区別ができ、日本語と英語の基本的な語順の違いを理解していない。
評価項目3	中学レベルの英単語と英文法を使用でき、高1レベルの英単語と英文法を理解できる。	中学レベルの英単語と英文法を使用でき、高1レベルの英単語と英文法をおおよそ理解できる。	中学レベルの英単語と英文法を使用できず、高1レベルの英単語と英文法を理解できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	英語を理解し使用するために必要な、基本的かつ重要性の高い文法事項を身につける。
授業の進め方・方法	毎回2ページの割合で講義と演習を行う。テキスト、参考書、Workbook及び英和辞典を必携のこと。参考書は自宅での予復習にも活用すること。小テストは随時実施する。その他、適宜課題を課す。文法項目を学習する順番は、英語AIの進路に合わせて変更することもある。
注意点	必ず予習をしておくこと。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス、英語の基礎知識（１）	授業の進め方、予習の仕方、評価方法などを理解する。
		2週	英語の基礎知識（２）	動詞と文型、句・節を理解する。
		3週	英語の基礎知識（３）	文の種類、修飾表現を理解する。
		4週	Lesson 1	現在・過去・進行形を理解する。
		5週	Lesson 2	未来形を理解する。
		6週	Lesson 3	助動詞を理解する。
		7週	lesson 4, Review Practice 1	to不定詞を理解する。
		8週	中間試験	
	2ndQ	9週	中間試験の解説 Expression in Use 1	「買い物表現」を理解する。
		10週	Lesson 5	現在完了・過去完了を理解する。
		11週	Lesson 6	受動態を理解する。
		12週	Lesson 7	動名詞を理解する。
		13週	Lesson 8	SVOとSVOOを理解する。
		14週	Lesson 8, Review Practice 2	知覚構文を理解する。
		15週	定期試験	
		16週	定期試験の解説 Expressin in Use 2	「食事の注文表現」を理解する。
後期	3rdQ	1週	Task 1	「Show and Tell」を理解する。
		2週	Lesson 9	比較表現を理解する。
		3週	Lesson 10	現在分詞を理解する。
		4週	Lesson 10	過去分詞を理解する。
		5週	Lesson 11	関係代名詞を理解する。
		6週	Lessson 12	関係代名詞の特別用法を理解する。
		7週	Expression in Use 3, Review Practice 3	「道案内表現」を理解する。
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	中間試験の解説 Task 2	「プレゼンテーション」を理解する。
		10週	Lesson 13	関係副詞を理解する。
		11週	Lesson 14	接続詞を理解する。
		12週	Lesson 15	分詞構文を理解する。
		13週	lesson 16	仮定法を理解する。
		14週	Review Practice 4, Task 3	「意見を述べる表現」を理解する。
		15週	定期試験	

		16週	定期試験の解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	1	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	1	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	1	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	1	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	1	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	1	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	1	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	2	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	2	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	2	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	

評価割合

	試験	課題テスト	課題・小テスト・英単語試験等	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	65	5	30	0	0	0	100
基礎的能力	65	5	30	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0